

はしがき

著者	太田 齋
雑誌名	神戸市外国語大学外国学研究
巻	83
ページ	(1)-(1)
発行年	2013-03-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1085/00001315/



はしがき

これまでも記してきたことだが、本論叢は神戸市外国語大学外国学研究所の研究報告書の一である。この研究報告書は二年を年期とする研究班が研究終了の際に編集するものであり、研究班は予め申請して学内の承認を得なければならない。我々の研究班はこれまで運良く、再申請の度に認められて来たから、結果として二年毎にこの我々の研究報告である『アジア言語論叢』を刊行してきた。しかし遂に悪運尽きたか、前号（第 8 号）を出した翌年は承認を得られなかった。その一年後に再度申請して認められたので、今号（第 9 号）は前号から 3 年後に刊行されることになった。

班長の編集に関する体内時計が狂ってしまって、事前に執筆の呼びかけをするということを怠ってしまった。それで締切ぎりぎりになって慌てて班員に論文の催促をすることになった。やはり人は追い詰められないと論文を書かないという側面があるのは確かだが、それにも限度がある。余程、日頃から少しずつでも論文を書き続けるというような、自己を律する気持ちの強い者でないと、論文を出せと言われて、数日以内に、ではこれを、と提出することはできないだろう。

そんな班長の体たらくにも拘わらず、嫌な顔も見せず(?) 論文を提出してくれた自己を律する気持ちの強い班員のおかげで、今号も何とか形ができた。やはりそれでもちょっと頁数がやや不足気味の感が免れなかった。1 本は恩師の 80 歳祝賀研究討論会の発表原稿を基にしているので、通常の論文のスタイルから逸脱しているところがある。『アジア言語論叢』はこのような論文も収録する形式面での融通が利く論集なのである。念のために付け加えておくが、決して専横な班長が権限を利用して、報告書を私物化したというのではない。

今号の前説は甚だ品の無いモノになってしまった。諸賢の寛恕を乞う。

アジア諸語の通時的、共時的研究
研究班代表 太田 斎